

作成日：R7 年 5 月 9 日

令和 7 年度第 2 回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和 7 年 5 月 9 日(金)
時間	9:20～10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	高松支援学校、直島町住民福祉課、障害者就業・生活支援センターオリーブ、地域活動支援センタークリマ、ヒトトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、一般社団法人garyu、一般社団法人ええる、相談支援センターりゅううん、特定非営利活動法人アイルコート、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 欠：高松市健康づくり推進課 順不同 計 18 名

議題 1：協議会目標の共有

議事	協議会の基本的な目標に基づき、R6～7 年度の 2 年間目標を共有。
----	------------------------------------

議題 2：各部会の進捗状況について

議事	(こども部会) ・第1回部会を6月に開催予定。11月に第1回事業所連絡会を開催予定。 ※学校との連携の大切さを日々、感じる。支援学校のみではなく普通校との連携の必要性を感じる。強度行動障害の研修に学校側の参加していただきたい。 ※教員が日々の業務で追われていたり、幅広い対応を求められて疲弊している現状がある。研修等の案内があれば参加していきたい。 ※ライフステージを繋ぐ支援の必要性も感じる。事業所も相談支援専門員も関わって貰いたい。未就学児への支援が大切になる。 ※相談支援事業所部会より
----	---

	部会内で教育との連携の仕方について話題が出ているので検討していく。 ※以前、こども部会主催で学校の SSW や教頭先生を対象に福祉との連携を目的に実施していた研修を機に教育の場面での福祉の支援が進んだ。 (医療的ケア部会) ・特に進捗はない。 (居宅サービス事業所部会) ・次回研修に開催に向けて準備している。 (当事者家族会部会) ・8月のナイスハートバザールで合理的配慮についての啓発活動を検討している。 (B 型事業所部会) ・年間スケジュールは昨年と同様の予定。第1回部会を 5/14 に開催予定。 (権利擁護部会) ・意思決定支援研修(基礎編)7/18、意思決定支援研修(実践編)9/22、虐待防止研修 3/3、差別解消法の勉強会 12 月開催予定。 ※今年度は三木町での開催にあたって幅広く周知啓発していく予定。 (グループホーム部会) ・第1回交流会を 6/12 に開催予定。 ※事業所に訪看から問い合わせ。軟膏の塗布は医療行為になるのか？医療連携加算についてなどの問い合わせがあった。 ※グループホームは横の繋がりがなく孤立しがちなので、次回の交流会で上記のような事業所の対応についても話題に出していく。 (就労支援部会) ・第1回部会を 5/14 に開催予定。就労選択支援事業の勉強会を実施予定。 ※参加者が回数を重ねる毎に減っていく課題にも取り組んでいきたい。 ※学校内でも就労選択支援事業の話題は出ているが、サービス内容について詳細の通知がないため対応を決めかねている。 (精神保健福祉部会) ・新メンバーと時間をかけて自己紹介した。ピアサポーター委員会の方では、新たに2名の方が参加予定 ※医療機関より計画相談の事業所について情報を求められている。 (相談支援事業所部会) ・4/17 開催し新たに開設した相談支援事業所に参加していただいた。 各事業所の困り感を共有した。今年度は GSV を用いて横の繋がりを作っていく。 ・毎月、運営会議を実施しており「教育と福祉の連携」「就労選択支援事業」
--	---

	「共同体制」について取り上げていきたい。 (身体障害者部会) ・日常生活用具担当の方と意見交換を実施。アンケートを実施するにあたって品目を絞っていく。 ・新しい部会員としてコンサフォスが参画することで部会内で決定した。運営会議でも参加に反対の意見はなし。事務局で会則を確認して返答する。コンサフォスとしても医ケアの利用者を対応していく中で部会に参加していきたい意向有り。 (知的障害者支援部会) ・5/22 に第1回部会を開催予定。 ・本人参加の会に向けて準備していきたい。 (発達障害部会) ・高校生に向けてのリーフレット作成していく。相談したいが相談先に行くことが出来ない課題がある。電話ではない相談する媒体を検討していく。 ・高松圏域自立支援協議会と中讃東・西両圏域自立支援協議会と課題の共有していく予定。 ※相談媒体として、発信側がいつでも発信できて、受け側の都合で相談が確認できる媒体があればよいが・・・ ※公式 LINE を用いている。オンラインゲーム上でチャットを用いて相談が出来る様にしている。実際の相談に繋がっているわけではないが、自宅から出られない方とつながりを保つことができる。 (移動支援ワーキング) ・2月より対象者、グループ支援、人材確保等の課題について検討している。 ※単価のシュミレーションを作成しており完成した物を市に提出する。事業所運営していく上で必要な単価を出していきたい。 ※三木町に報告して欲しい。他地域の単価も参考にして欲しい。
--	--

議題3：その他

	(圏域マネージャーより) ・香川県自立支援協議会人材育成部会より研修開催予定。 ※資料参照 ・高次脳機能障害の養成研修について 今年度は、基礎研修と実践研修と開催予定。 ・6/12 香川県相談支援専門員協会主催の研修周知あり (第1回全体会について)
--	---

議事	・会次第(案)の確認する。前回の全体会の質疑応答で挙げた話題のうち「就労選択支援事業」「受診拒否」について議論するのはどうか？→内容を共有する。今回の全体会では、この2点を取り上げる。 ※就労選択支援事業について就労移行支援事業が指定を受けやすいが手を挙げる事業所があるのか？香川県で高松市にしか事業所がないので県内から集中する懸念がある。 ※県より市町担当部署へ各圏域で課題が違うので各圏域単位で検討していくように通知が来た。就労選択支援事業が出来たことで就労継続支援 B 型事業所を更新する際に利用できる。 ※緊急時の医療発電について日常生活用具として認められるか？通常の家庭でも必要な物になるので対象ではない。 ※三豊市等は認められている自治体もある。また、一般の家庭で必要物とは異なる。 (運営会議で共有した課題について) 3月、4月の会議で挙げた事項を掲載している。5月分も合わせても一旦、まとめて検討する場を設ける。 (令和6年度協議会の決算について) 無事に終了した報告あり。 (事業所より情報提供) ・近隣住民の方から受けた苦情を検討し改善点を考えた。また、近隣住民を対象に事業報告会を開催して事業所や障がいについて知ってもらう機会をつくる。 ・ある商業施設内のカレー屋さんを事業所で利用した際に職員の対応を見ていて、店側より合理的配慮を提案してくれた。そういった地域の民間企業があることを協議会を使って発信していきたい。 ※合理的配慮について別の事例としては、外出時にコンセントを借りられる商業施設と借りられない施設がある。事情を説明したがお断りされた。こういった事例収集していくのはどうか？県の自立支援協議会で検討する場がある。 そういった事例があった時にどこに問い合わせたら良いか分からない現状がある。 (次回の運営会議) R7 年6月13日(金)9:20~10:50 かがわりハセンター第1研修室
-----------	---

